

重症度分類（案）

- 1) 重症 周産期に生命の危険が迫っている可能性が予想あるもの
臨床的に自発呼吸により呼吸機能が維持できない
出生前超音波検査で病変部体積と頭囲の比率（以下LVR, $LVR = \text{病変の長さ} \times \text{幅} \times \text{高さ} \times 0.52 / \text{頭囲}$ で計算）が1.5を越えるもの
出生前評価で胎児水腫あるいは腹水貯留、皮下浮腫、胸水貯留のいずれかがみられるもの

- 2) 中等症 すぐに生命の危険はないが、速やかに治療が必要なもの
瀕呼吸など軽微な呼吸不全症状がみられるもの
下気道感染を反復するもの
CCAM (Congenital Cystic Adenomatous Malformation) が疑われ、画像上も縦隔偏移や他の正常構造の著明な圧排などがみられるもの

- 3) 軽症 待期的治療が許容されるもの
臨床的に無症状であるもの
CCAMを疑わせる所見のないもの